

アンデスの風

ボゴタ日本人学校だよりNo. 344
(平成29年度 第4号)

平成29(2018)年2月22日



ASOCIACION CULTURAL JAPONESA
Cra.8H No. 170-35 BOGOTA COLOMBIA
Tel+571-670-5130 Fax+571-672-7509
E-mail : bogota01@bogotaacj.com
URL : <http://www.bogota.acj.com>

校長 平野 恵彦 2018.2.12

1月中旬

中学部の教室で授業をしていると用務員さんが青い鳥が枝にとまっているのを見つけてくれました。暫くの間、Cさんと見入っていました。現地校への進学を見事に果たしたCさんとの授業も残り僅かとなった頃のことでした。青い鳥…?! 幸せの青い鳥かも知れないなと思ったのです。見られてよかった…。



1月下旬

アンデス

タイム(2校時と3校時の間の20分間)に小学部1・2・3年生の女子が仲良く電車ごっこでしょうか。学年に関係なく皆で遊べるのも日本人学校のよさです。でも学年末、子どもたちに別れの季節が迫っていることを小さな身体でどことなく感じているように思いました。

学年末、別れの季節が近づくとともに、各教室の壁も随分と教室掲示で埋まってしまいます。

中学部教室の片隅には「ゆずり葉」と名付けられた掲示物があります。今年の1年間に中学部の生徒が思い思いのこと・出来事を「一枚の葉」に綴った葉っぱが散りばめられています。素敵な言葉で彩られています。中学部のCさん



は9カ年在籍し、この度、本校で卒業式を迎えます。Cさんの思いが一枚一枚の葉っぱに込められていました。新芽をだす季節、希望校への進学も無事に決まりました。心よりお祝い申し上げます。Kさんは、小学部を卒業し本校中学部へ進学します。

中学部卒業生 Cさん

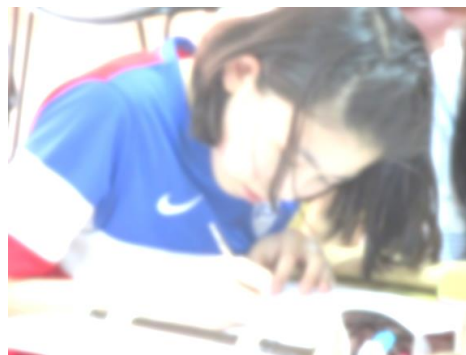
4月始業式に本校に転入し、翌日の入学式には立派に歓迎の言葉を述べたことがとても印象に残っています。何でも積極的に取り組む姿勢を中学部でも発揮してください。

若い頃、教員は「五者」の能力を身に着けるようにとよく言われました。

学問を教えるので「学者的素養」、健康…「医者の素養」、学級経営…「経営者の素養」、身振り・手ぶり・表情が大切だから「役者の素養」で四者となり、最後が一番難しいのですが「易者」です。その子の将来が見える、可能性が見えてくるようにならないと進路指導はできないのではないかと教えられました。

Cさんは頑固で曲げない長所を持っています。未熟な「易」ではありますが、数々の困難を乗り越えきっと幸せを掴んでいるCさんの「たしかな姿」が私たちには見えてきます。そう言えば、黄色い小鳥が飼育小屋の水場にもどってきました。新しい季節の訪れを予感させます。

心のこもった卒業式を挙行し、子どもたちをおくり出したいと思います。



小学部卒業生 Kさん